環境保全協定に基づく「環境保全報告書」

令和７年度環境保全報告書　　株式会社阪急阪神百貨店

神戸阪急

①当該年度の重点取組目標・計画の実施状況

ア．地球温暖化対策【温室効果ガスの抑制】

エイチ・ツー・オーリテイリンググループの事業活動で発生する環境負荷（CO2 排出、フードロス、プラスチック排出等）を低減するための環境マネジメントを推進します。

脱炭素社会の実現に向けて、中長期の温室効果ガス（GHG）排出削減目標を設定しました。

２０３０年度３０％削減（２０１９年度比）※２０１３年度比４８％削減相当

↓

２０５０年度　ネットゼロ

イ．省エネルギーの推進

目標達成のための具体的な取り組みとして、これまで進めてきた LED 照明への切り替えや冷凍リーチインショーケース・省エネ制御機器の導入などの省エネの促進に加え、再生可能エネルギーの使用も順次拡大していきます。

②地球温暖化対策に係る報告

ア．今年度における電気・燃料等の使用量、温室効果ガス排出量

活動の区分	燃料・焼却物等の種類	使用量等	単位	単位発熱量(MJ)	排出係数	排出量	温暖化係数	合計(CO_2換算)
					kg-CO_2/MJ	kg－CO_2	CO_2	
燃料の使用	原料炭		kg	28.9			1	
	一般炭		kg	26.6			1	
	A 重油		ℓ	38.9			1	
	B 重油		ℓ	41.8			1	
	C 重油		ℓ	41.8			1	
	LPG		kg	50.1			1	
	都市ガス	160, 190	m^3	40.0	0.0513	328, 924	1	328, 924
	その他(廃棄物等)		kg	42.3			1	
電気事業者から供給された電気の使用	一般電気事業者	13,569,243	kWh	8.64	0.415	5,631,236	1	5,631,236
熱供給事業者から供給された熱の利用			MJ				1	
合計						5,960,160	1	5,960,160

イ．当該年度の計画達成状況

温室効果ガス	削減目標		排出量		削減率（%）	
	今年度 (a)	2030 年度 (b)	基準年度 (2013 年度) (c)	今年度 (実績)	今年度	2030 年度
二酸化炭素	5,960,160	5,185,200	7,867,400	5,960,160	24.2%	34.1%
メタン						
一酸化二窒素						
HFC						
PFC						
六フッ化硫黄						
合計						

※削減率・今年度（%）＝｛（ｃ）－（ａ）｝／（ｃ）・2030 年度（%）＝｛（ｃ）－（ｂ）｝／（ｃ）

ウ．目標達成のために講じた措置・対策の達成状況

	分野	項目	細目	目標	実施状況
1	事業所等での節電	節電	不要な照明の消灯	徹底	実施率90%
			照明のＬＥＤ化	後方部門100%	後方部門100%更新
2	特定フロン等使用量の削減	設備更新時に特定フロン非使用設備を導入	―	新規導入時	設備更新なし
		特定フロン等使用機器廃棄時の適正処理	―	廃棄時	エアコン１台を更新適正処理後廃棄

③公害防止対策、地球温暖化対策以外の環境保全活動に係る報告

今年度の環境活動に係る具体的実施内容

	分野	項目	細目	目標	実施状況
1	事業所等での廃棄物の適正処理･減量	分別廃棄	資源ごみ・段ボールなどリサイクル化へ推進	徹底	実施率100%
		魚腸骨、生ゴミの食品リサイクルの推進	―	前年比100%	前年比100%
		コピー用紙の使用削減	―	前年比95%	前年比67%
		ミスコピー用紙の再利用	―	徹底	概ね実施
2	事業所等での再生品等の使用	プリンターカートリッジの再生利用		実施率100%	実施率100%
		再生紙の使用促進	コピー用紙、トイレットペーパーの再生紙利用	実施率100%	実施率100%

	分野	項目	細目	目標	実施状況
3	自動車対策	エコドライブ・アイドリングストップの推進 ※ｴｺﾄﾞﾗｲﾌﾞは社用車のみ	―	社用車及び搬入車両 実施率100%	実施率100%
4	営業活動における資源有効利用	紙袋・包装紙の削減	―	前年比95%	前年比105%
		簡易包装・スマートラッピングのお勧め	―	徹底	概ね実施
5	プラスチックに係る資源循環等の推進	排出されるプラ製品（ペットボトル・発泡スチロール・ハンガー）等の回収・リサイクル推進	―	前年比100%	前年比100%
6	地域社会への参画	事業所周辺の清掃活動	―	月1回実施継続	月1回実施（参加人数：延べ63人
		地域の環境保全活動への社員派遣	三宮センター街清掃 フラワーロードを美しくする会	1人/月 1人/隔月	参加人数：延べ18人